

九州体育・保健体育ネットワーク研究会 2016 ファイナル in 福岡

—新たな時代の保健体育のアウトカムを考える—

1 目的

九州各県の体育科・保健体育科教育に関わる小中高の学校関係者、教育委員会関係者、大学関係者によって構成される有志が、新学習指導要領への理解、体育学習や保健学習に関する授業力の向上、教育課程編成等体育科教育の充実に向けて、語り合う機会とし、九州から全国へ実践ベースの情報を発信する。また、全国体育・保健体育ネットワーク研究会の交流を促進する。

2 主催／共催／後援

〔主催〕九州体育・保健体育ネットワーク研究会、北海道・東北ネットワーク研究会
北信越ネットワーク研究会

〔共催〕福岡県体育研究所、鹿屋体育大学、宮崎大学、熊本大学、福岡教育大学、佐賀大学、九州共立大学、鹿児島大学

〔後援〕大分県教育委員会、沖縄県教育委員会、鹿児島県教育委員会、熊本県教育委員会、長崎県教育委員会、福岡県教育委員会、宮崎県教育委員会、佐賀県教育委員会

3 期 日

平成28年3月5日（土） 13:00～17:00（受付：12:30～）

平成28年3月6日（日） 9:00～12:00（受付：8:30～）

4 場 所

福岡県立スポーツ科学情報センター（アクション福岡）

住所 〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4

TEL 092-611-1717

5 内 容

【1日目】3月5日（土） ※10:00～準備 12:00～13:00 役員会

12:30 受付

13:00 開会

（代表挨拶）鹿屋体育大学 佐藤 豊

（来賓挨拶）九州体育・保健体育ネットワーク研究会参事

第1部「授業づくり最前線」進化する小中高の授業づくり

13:00～14:00

小学校体育専科、中学校単元構造図、高等学校体育科(調整中)

第2部「保健体育授業づくりシンポジウム」 「保健と体育の充実に向けた教育課程の可能性」

14:00～16:30

パネリスト

菊 幸一

筑波大学大学院 教授

森 良一

国立教育政策研究所 教育課程調査官

高橋 修一

国立教育政策研究所 教育課程調査官

コーディネーター

佐藤 豊

鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系

指定討論者

交渉中

16:30～16:45 事務連絡（総会・会計報告）

16:45 終了

18:00 情報交換会（福岡市内）

【2日目】3月6日(日)

8:30 受付

「ポスターセッション」大学、学校、行政の情報を共有する

9:00~10:15

第3部「海外から学ぶ・九州から発信する～学校体育の充実に向けて～」

10:30~11:30 チンウエイ・チャン 台湾師範大学准教授・博士

台湾スポーツ教育学会 国際交流委員長、Aiesep 理事

通訳 吉野聡(茨城大学)、本田壮太郎(福岡教育大学)

11:30 全体意見交換・アンケート記入等

12:00 終了 ※その後、片付け

6 資料代(紀要)

1,000円

※九州ネットワークの会費については、平成27年度会費未納入者のみ徴収します。

7 参加申込

下記アドレスを直接アドレスバーに打ち込み、HPへアクセスし送信ください。

なお、2月26日(金)までにお申し込みください。(携帯からのアクセスも可)

<http://eap.pref.nagasaki.lg.jp/kv2/?42000Q00002079KHS>

携帯からの参加

申込はこちらから

申し込み画面にジャンプします。

*ポスター発表をしていただける方は、備考欄に、「ポスター発表希望(発表タイトル、氏名)」をご記入下さい。要項原稿の作成がありますので、2月1日(月)までに原稿を事務局：梶(かこい) <chichicaco@ninus.ocn.ne.jp>まで送信してください。

***別添ポスター作成見本を参照してください。**



8 その他

- ◆ 宿泊については、各自手配をお願いします。(非常に取りにくくなっています。)
- ◆ 情報交換会は福岡市内(博多駅前のHクリオコートを予定)で実施します。(5,000円程度)なお、準備の関係上、研究会と情報交換会を併せて参加の有無をお知らせください。
- ◆ 実践発表(ポスター)を希望される方は、2月1日(月)までに申し込みサイトからエントリーをし、原稿を送付してください。学校現場実践、大学生等ポスターセッションにおける発表が可能です。学会ではありませんので、既発表のものも可能です。研究や実践の成果を広くご発表下さい。

9 問合せ/連絡先

事務局：国立大学法人鹿屋体育大学 教授 佐藤 豊 研究室内

担当：梶 ちか子 (090-9090-0047, chichicaco@ninus.ocn.ne.jp)

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

TEL 0994-46-4988

10 会場案内



バス

JR 博多駅 バスターミナル14番乗り場から
37, 39, 39-Bのバス・・・約20分

(月隈団地経由) (アクション福岡前下車)

福岡空港 地下鉄4番出口 福岡空港前バス停から
37, 38, 39のバス・・・約7分

車

JR 博多駅から・・・約20分

都市高速道路利用の場合

福岡方面から：月隈ランプ出口を降りて・・・
約6分

太宰府方面から：金の隈ランプ出口を降りて・・・
約9分

ポスター作成イメージ

保健体育授業づくりシンポジウム 2014 ー九州から全国へ ～学校体育の充実に向けて～ ー

体づくり運動タブレットを活用した授業実践

2014.3.8

北本憲仁 熊本県山鹿市立菊鹿中学校 y-kikukajh@educet01.plala.or.jp

1 体づくり運動って



◇「体ほぐしの運動」「体力を高める運動」
◇7単位時間以上の実施
◆自他の心と体に向き合って、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心と体をほぐしたり、体力を高めます。
◆健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画を立て取り組む。

2 現場の状況は

◇学習指導要領完全実施から2年目
・指導内容は概ね理解できているが、指導方法が難しい。
・トレーニングの要素がどうしても強くなる。
・何となくレクリエーションっぽく感じてしまう。
・学習準備物が多く、学習シートの活用に時間がかかる。 等

◇授業を受ける生徒たちは
・楽しんで運動している感じ。
・知識が身につけていない。
・活動に時間のロスが生まれる。
・あまり日常化しない。

3 タブレットの活用

体づくり運動アプリ 映像で運動の行い方が学習できる 運動の計画が生徒自身で作成できる 教師専用管理画面で生徒の情報を一元管理

4 実践例【1年生】

ログイン 体づくりアプリ活用;運動例を参考に自主的に ねらい 一斉指導



呼吸を合わせて、「せーのっ！」

振り返り・まとめ

◇生徒たちは、学習内容を理解し、ペアやグループで助け合ったり教え合ったりして活動していた。
◇教師は本時のねらいを意識、多くの運動を行っている状況を把握、主に操作のサポートを行った。

5 成果と課題

①動画の運動例やそのポイントが示されており、生徒たちの学習内容の理解に大きく役立った。 ②1時間の「導入・展開・終末」の流れがスムーズだった。 ③生徒の自主的な姿が随分見られた。また、教師側のサポートをしてくれたアプリだった。 ④事前にアプリで学習内容や展開を確認できたので、授業が本当に進めやすかった。 ⑤学習規律を徹底したり、タブレット使用のルールを決めたりしたことがよかった。 ⑥指導と評価の一体化につながった。

●活動時におけるタブレットの管理を考えないと、安全面の心配や破損の恐れがある。 ●2人で1台が理想的であるが、タブレットの台数やWiFi環境等を整備しないと活動が停滞する。 ●運動例は豊富だが、授業中だけで見てしまうことは難しい。

6 これから

エクセル
ワードで
A4 サイズ

タイトル
お願いします

発表者の
所属、氏名
等

作成資料、
指導案、タ
ブレット
による映
像等の提
供も可能
です